

石狩川河口地域で採集された植物標本について

Botanical specimens collected in the estuary area of the Ishikari River

荒山 千恵*

Chie ARAYAMA*

キーワード：腊葉標本，石狩川河口地域，標本ラベル，地域資料，自然史標本

1. はじめに

石狩浜海浜植物保護センター（以下，保護センター）は，2020年に開設20年目を迎えた。本施設は，石狩浜の自然情報に関する展示のほか，定期観察や概況調査，一般向けの普及啓発活動の拠点にもなっている。石狩浜でのこうした活動は，保護センター開設以前から行われており，当時の資料・活動記録の一部は本施設に残っているものもあり，今日では貴重な資料となっている。今回紹介するのは，そうした資料の一つで，保護センター開設の10年ほど前（1989・1990年）に採集された植物標本（腊葉標本）である。これらの標本は，これまで存在が一部の関係者を除いてほとんど知られてこなかったもので，本稿では，その経緯や概要について紹介する。

2. 腊葉標本の経緯

保護センターに収蔵されている腊葉標本は186点である。標本は台紙に標本テープで固定された状態で，それらの台紙1点ずつに標本ラベルが貼付されている（写真1～4）。標本は台紙に1点ずつ標本テープで固定された状態で，それら1点ずつに標本ラベルが貼付されている（図1）。標本ラベルの情報から，1989年および1990年に石狩川河口地域で採集された植物であることがわかる。

これらの標本は，保護センター開設以前に標本

を作製された方（採集者）から寄贈いただいたものとして保管されていた。標本には，どのような調査活動もしくは経緯で採集されたものが明記されていなかったため，改めてその確認を進めることとした。

まず，採集者の1人である与那覇モト子氏から，当時のお話をうかがった。そして，1989年および1990年に当時の石狩町が実施した石狩川河口地域植物調査の一環により植物採集と標本作製が行われていたことを確認することができた。次に，1989年および1990年に実施された植物調査の報告書「石狩川河口地域植物調査報告書」（1989）および「石狩川河口地域植物調査追加報告書」（1990）と，腊葉標本に貼付されている標本ラベルとの記載内容を照合した。その結果，いずれも標本の採集年が1989年もしくは1990年であること，採集場所が石狩川河口地域であること，同じ採集者（3名）であることなど，基本情報が一致した。したがって，これらの腊葉標本は，1989・1990年の植物調査の一環で採集された標本一式であると判断される。なお，報告書の標本目録と標本ラベルの情報の詳細をさらに照合すると，種名および種数の一部に相違がみられた。要因は，標本目録の種数は報告書の提出時点のもので，不足分は補足する予定と記載があり，報告後の追加や見直しによるものと考えられる。

* 石狩市環境市民部石狩浜海浜植物保護センター 兼 環境保全課 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30-2

3. 植物調査の概要

石狩川河口地域植物調査は、1989年および1990年に、石狩町（当時）により実施された。本調査が終了した翌年（1991）に「はまなすの丘公園」、翌々年（1992）に「はまなすの丘公園ヴィジターセンター」が開設された。当時の調査については、次の報告書に詳細がまとめられている。

「石狩川河口地域植物調査報告書」

（頁数：50頁） 調査機関：石狩町

調査期間：1989年6月20日～9月30日

「石狩川河口地域植物調査追加報告書」

（頁数：5頁） 調査機関：石狩町

調査期間：1990年5月～10月

調査区域は、石狩川河口に形成された砂嘴状地形の先端部で長さ約1.5kmにわたる範囲である。1989年の調査では、草本125種、木本15種、計140種が確認されている。同年の報告書には、植物総目録、植物分布図、湿地帯植物分布図、海側から川側までの横断面積植生調査図など、詳細な調査

記録がまとめられている。標本については、報告書刊行時で79種が「植物標本目録」に記されている。

1990年の調査では、前年の追加調査で新たに確認された28種の植物一覧および標本目録が報告されている。前年の調査開始時期が6月であったため、この年の調査では5月初旬から調査が開始されている。追加報告書には、1989年の調査で採集できなかった植物標本を作製したことが記されている。

4. 採集時期と標本数

標本ラベルに記載されている採集年月日から、1989年に採集された標本は84点、1990年に採集された標本は100点、採集年不明は2点である（表1）。また、採集月別にみた標本数では、1989年は、6月に1点、7月に1点、8月に20点、9月に53点、10月に9点で、8・9・10月の夏季から秋季にかけて採集されたものが多い。報告書にある調査期間は9月30日迄であるが、実際に残されている腊葉標本では10月に採集されたものも含まれる。一方、1990年の採集月別にみた標

表1. 腊葉標本の採集年月別にみる標本数（標本ラベルに記載された採集年月日より）。

採集された月	1989年採集標本数	1990年採集標本数	採集年なし標本数	月別にみた標本数の合計
5月	-	12	0	12
6月	1	9	0	10
7月	1	22	1	24
8月	20	3	0	23
9月	53	2	0	55
10月	9	-	0	9
月日なし	0	52	1	53
合計	84	100	2	186

本数では、5月に12点、6月に9点、7月に22点、8月に3点、9月に2点、月日不明が52点である。5・6・7月の春季から夏季にかけて採集されたものが多くみられる。この2ヶ年にわたる調査によって、石狩川河口地域に生育する5月から10月までの季節を通じた植物が標本化されている。

5. 腊葉標本の貼付ラベル

標本ラベルは、すべての腊葉標本の台紙に貼付されている(図1)。ラベルの項目には、「標本No.」「採集地」「科名」「和名」「学名」「採集区域」「生態」「採集年月日」「備考」「採集者」の10項目がある。そのうち、「採集地」については「北海道石狩支庁石狩町石狩川河口砂嘴」と印字されている。そのほかの項目には手書きによる記載欄がある。

6. まとめ—腊葉標本の記録と保存—

保護センターに保管されてきた腊葉標本の経緯を確認した結果、石狩町が実施した1989・1990年の石狩川河口地域植物調査の一環で採集されたものであることがわかった。1989年の調査では、調

査区域で確認された植物を網羅的に記録しており、標本については1989年に79種、1990年に追加28種を標本目録にまとめている。現在、保護センターに保管されている腊葉標本は当該調査のものに該当し、貼付の標本ラベルからも、石狩川河口地域に生育する春季から秋季までの連続する2年分の植物を採集したものであることを確認することができた。この地域の植物調査に伴う腊葉標本が一式で残されているのは、石狩市が収蔵するものとしてこれが唯一とみられる。当時の石狩川河口地域で採集された標本一式であることに加えて、植物調査に伴う多くの自然情報を持ち合わせていることは、地域資料・地域の自然史標本として貴重なものといえる。

腊葉標本の保存状態については、長年の経過により退色・脆弱化はしているものの、カビ・虫害による深刻な劣化痕跡は見られず概ね良好に保たれている(注1)。今後も破損や劣化を抑えて保存するため、今回の整理では標本の確認作業と合わせて、すべての標本1点ずつの写真撮影をおこない、現時点の腊葉標本をデジタル画像に記録した(注2,3)。なお、これら腊葉標本の植物情報については、デジタル画像や標本ラベルの情報と合わせて整理中である。



石狩川河口地域植物標本 No. _____

Plants of the Mouth Area of the Ishikari River, Hokkaido, Japan

採集地：北海道石狩支庁石狩町石狩川河口砂嘴

科名： _____ 科 _____

和名： _____

学名： _____

採集区域： _____ 生態： _____

採集年月日： 19 ____ 年 ____ 月 ____ 日

備考： _____ 採集者： _____

図1. 腊葉標本に貼付される標本ラベルの項目。

7. おわりに

これらの腊葉標本を保存し、後世に残すことは、当時の石狩川河口地域の自然情報の証拠として新たな価値や発見の可能性にも繋がるものと考えられる。今後も、調査記録や資料・標本を整理する際には、地域の貴重な自然情報・歴史資料のもつ意味や価値に留意しながら取組みたい。

謝辞：腊葉標本の整理にあたり、採集者のお一人である与那覇モト子氏には、お話を聞かせていただき、ご協力を賜りました。また、標本にかかわる照会にあたり、札幌市博物館活動センター、北海道大学植物園、北海道博物館の諸機関に大変お世話になりました。

標本の情報整理にあたっては、内藤華子氏・山田織江氏による多大なご尽力とご協力を賜りました。本原稿の修正および校正では、いしかり砂丘の風資料館の志賀健司氏よりご助言を賜りました。標本の写真撮影に伴う撮影器具の使用では、いしかり砂丘の風資料館のご協力をいただきました。

末筆ながら、心より感謝申し上げます。

注1 標本劣化を抑えていくための保存環境について、三浦ほか(2016)を参照した。

注2 標本の撮影作業は、保護センターの吉井重正センター長、菊池拓主査、荒山により実施した。

注3 標本の写真撮影と標本ラベルの植物情報の確認にあたり、米倉・梶田(2003-) YListを参照した。

引用文献

石狩町, 1989. 石狩川河口地域植物調査報告書. 石狩町.

石狩町, 1990. 石狩川河口地域植物調査追加報告書. 石狩町.

三浦定俊・佐野千絵・木川りか, 2016. 文化財保存環境学 第2版. 朝倉書店.

米倉浩司・梶田忠, 2003-. BGPlant和名-学名インデックス (YList) . <http://ylist.info> (2020年12月) .



写真1. ハマボウフウ (1989年8月3日採集)



写真2. ハマニガナ (1989年9月11日採集)



写真3. アリノトグサ (1989年9月11日採集)



写真4. ハマハタザオ (1990年5月9日採集)

